




# 基本的なコール処理




一連の機能とサービスを使用して、基本的なコール処理を実行できます。機能の Availability は異なる場合があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## コールの発信：基本的なオプション

ここでは、Cisco Unified IP Phone でコールを発信する簡単な方法を一部紹介します。

目的	操作	参照先
ハンドセットを使用してコールを発信する	ハンドセットを取り上げ、番号を入力します。	<a href="#">ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.51)</a>
スピーカフォンを使用してコールを発信する	 を押して、番号を入力します。	<a href="#">ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.51)</a>
ヘッドセットを使用してコールを発信する	 (  ) を押して、番号を入力します (通常、ボタン 23 がヘッドセットに割り当てられます)。	<a href="#">ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.51)</a>
番号をリダイヤルする	 を押して、最後の番号をダイヤルします。	<a href="#">コールの発信：基本的なオプション (P.19)</a>
履歴からダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> <li> (  ) &gt; <b>[Directories]</b> を押します。</li> <li><b>[Missed Calls]</b>、<b>[Received Calls]</b>、または <b>[Placed Calls]</b> を選択します。</li> <li><b>[Dial]</b> を押します</li> </ol>	<a href="#">履歴の使用方法 (P.56)</a>






### ヒント



- ダイヤルトーンを聞かずにオンフックでダイヤルできます (プレダイヤル)。プレダイヤルするには、番号を入力してから、ハンドセットを取り上げてオフフックにし、**[Dial]** を押すか、 (  ) または  を押します。

- プレダイヤルする場合、発信履歴ログ内の一致する番号（ある場合）が電話機に表示され、ダイヤルする番号が電話機によって予測されます。これは自動ダイヤルと呼ばれます。自動ダイヤルで表示された番号に発信するには、その番号までスクロールし、オフフックにするか [Select] ボタンを押します。
- 間違っただイヤルした場合は、<<を押して番号を消去します。
- コールの発信者と受信者にビープ音が聞こえる場合は、そのコールが監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

## コールの発信：追加のオプション

コールを発信するための特別な機能とサービスが電話機で使用可能な場合があります。これらの追加オプションの詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

目的	操作	参照先または問い合わせ先
別のコールがアクティブなときにコールを発信する（別の回線を使用）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 新しい回線の  を押します。最初のコールが自動的に保留状態になります。</li> <li>2. 番号を入力します。</li> </ol>	コールの保留と復帰 (P.24)
短縮ダイヤルを使用する	<p>次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•  (  ) を押します。</li> <li>• 固定短縮ダイヤル機能を使用します。</li> <li>• ファースト ダイヤル機能を使用します。</li> </ul>	短縮ダイヤル (P.36)
電話機の社内ディレクトリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  (  ) &gt; [Directories] &gt; [Corporate Directory] を選択します（名前は異なる場合があります）。</li> <li>2. 名前を入力し、[Search] を押します。</li> <li>3. リストを強調表示し、オフフックにします。</li> </ol>	履歴の使用方法 (P.56)
Cisco CallBack を使用して、話し中または呼出中の内線が応対可能になったときに通知を受信する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ビジー音または呼出音が聞こえているときに [CallBack] を押します。</li> <li>2. 切断します。回線が空くと、電話機によって通知されます。</li> <li>3. コールをもう一度発信します。</li> </ol>	システム管理者

目的	操作	参照先または問い合わせ先
短縮ダイヤルに関連付けられている回線にコールを発信する前に、その回線がビジー状態かどうかを確認する	ビジー ランプ フィールドのインジケータを調べます。	BLF による回線状態の確認 (P.44)
プライオリティ (Precedence) コールをかける	MLPP アクセス番号を入力してから、電話番号を入力します。	重要なコールの優先順位付け (P.47)
個人アドレス帳 (PAB) のエントリからダイヤルする	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  (☎) &gt; [Directories] &gt; [Personal Directory] を押して、ログインします。</li> <li>2. [Personal Address Book] を選択し、リスト項目を検索します。</li> </ol>	電話機でのパーソナルディレクトリの使用方法 (P.61)
課金コードまたはトラッキングコードを使用してコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 番号をダイヤルします。</li> <li>2. トーンが鳴ったら、Client Matter Code (CMC; クライアントマターコード) または Forced Authorization Code (FAC) を入力します。</li> </ol>	システム管理者
エクステンション モビリティ プロファイルを使用してコールを発信する	電話機でエクステンション モビリティ サービスにログインします。	Cisco エクステンション モビリティの使用 (P.48)
モバイル ボイス アクセスを使用して携帯電話からコールを発信する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユーザに割り当てられているモバイル ボイス アクセスの番号にダイヤルします。</li> <li>2. 携帯電話の番号 (要求された場合) と PIN を入力します。</li> <li>3. <b>1</b> を押して、会社の IP Phone にコールを発信します。</li> <li>4. ユーザのデスクトップ電話番号以外のデスクトップ電話番号をダイヤルします。</li> </ol> <p> (注) モバイル ボイス アクセスでコールを発信する前に、モバイル ボイス アクセス番号とエンドユーザ PIN をシステム管理者から取得する必要があります。</p>	1 つの電話番号を使用したビジネス コールの管理 (P.49)

## コールへの応答

コールに応答するには、ハンドセットを取り上げるか、電話機で利用できるその他のオプションを使用します。

目的	操作	参照先
ヘッドセットで応答する	 (  ) が点灯していない場合、押します。  (  ) が点灯している場合は、 <b>[Answer]</b> または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.51)
スピーカフォンで応答する	 、 <b>[Answer]</b> 、または  (点滅) を押します。	ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカフォンの使用方法 (P.51)
接続コールから切り替えて新しいコールに応答する	<b>[Answer]</b> を押すか、別の回線で呼出音が鳴っている場合は、  (点滅) を押します。	コールの保留と復帰 (P.24)
コール待機を使用して応答する	<b>[Answer]</b> を押します。	コールの保留と復帰 (P.24)
ボイス メッセージ システムにコールを送信する	<b>[iDivert]</b> を押します。	ボイス メッセージ システムへのコールの送信 (P.28)
コールに自動的に接続する	自動応答を使用します。	自動応答の使用 (P.53)
別の電話機でパークされたコールを取得する	コールパークまたはダイレクトコールパークを使用します。	パークされているコールの保存と取得 (P.40)
電話機を使用して、別の場所で鳴っているコールに応答する	コールピックアップを使用します。	自分の電話機にリダイレクトされたコールへの応答 (P.38)
プライオリティ コールに応答する	現在のコールを切断し、 <b>[Answer]</b> を押します。	重要なコールの優先順位付け (P.47)




目的	操作	参照先
携帯電話またはその他のリモート接続先でコールに応答する	<p>モバイル コネクトを設定して電話に応答します。</p> <p>モバイル コネクトを有効にすると次のようになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• デスクトップとリモート接続先でコールを同時に受信します。</li> <li>• デスクトップ電話機でコールに応答すると、リモート接続先の呼出音が止まって切断され、不在履歴メッセージが表示されます。</li> <li>• リモート接続先でコールに応答すると、他のリモート接続先の呼出音が止まって切断され、他のリモート接続先では不在履歴メッセージが表示されます。</li> </ul>	1つの電話番号を使用したビジネス コールの管理 (P.49)

## ヒント



通話相手にビープ音が聞こえた場合、その通話は監視または記録されている可能性があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。


## コールの終了

コールを終了するには、単純に切断します。ここでは、その操作を詳細に説明します。

目的	操作
ハンドセットを使用しているときに切断する	ハンドセットを受け台に戻します。または <b>[EndCall]</b> を押します。
ハンドセットを使用しているときに切断する	 (  ) を押します。または、ヘッドセットモードをアクティブのままにするには、 <b>[EndCall]</b> を押します。
スピーカフォンを使用しているときに切断する	 または <b>[EndCall]</b> を押します。



## コールの保留と復帰

コールを保留または復帰できます。コールを保留にすると、電話スクリーンで回線の横に保留アイコン  が表示され、対応する回線ボタンが緑で点滅します 。

別のユーザが共有回線を保留にすると、関連付けられている回線ボタンに  (点滅) が表示されます。ユーザまたは回線を共有する任意のユーザが、このコールを復帰できます。

電話機で保留復帰機能を有効にすると、保留にしたコールは、一定の時間経過後、電話機で呼出音が再び鳴るようになります。このような「復帰」コールは、保留解除されるまでは保留状態が継続されます。

復帰コールがある場合、電話機の次のようなアクションによって示されます。

- 一定の間隔を置いて呼出音 (点滅やビープ音など。ユーザの電話回線の設定によって異なる) を 1 回鳴らして警告する
- 電話スクリーンの下ステータスバーに、「Hold Reversion」という短いメッセージが表示される
- 保留中コールの発信者 ID の横に、アニメーションの保留復帰アイコン  が表示される
- 回線ボタン  が表示される (回線状態によっては点滅)



目的	操作
コールを保留にする	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 該当するコールが強調表示されていることを確認します。</li><li>2.  を押します。</li></ol>
現在の回線で、コールの保留を解除する	<ul style="list-style-type: none"><li>• 保留中コールの  (点滅)、 (点滅)、または  (点滅) を押すか、</li><li>• 対応するコールが強調表示されていることを確認して、次のいずれかを実行します。<ul style="list-style-type: none"><li>– <b>[Resume]</b> を押します。</li><li>–  を押します。</li></ul></li></ul>

### ヒント

- コールが保留状態になっているとき、通常は音楽やビープ音が流れます。
- 着信コールと復帰コールを同時に受信しているという警告を受けると、デフォルトでは、ユーザの電話機は着信コールの表示に電話機スクリーンのフォーカスを移します。システム管理者はこのフォーカス優先度の設定を変更することができます。
- 共有回線を使用している場合、コールを保留する電話機でのみ保留復帰の呼出音が鳴り、この回線を共有する他の電話機では鳴りません。
- 保留復帰の警告が発生する間隔は、システム管理者が決定します。



## ミュートの使用

ミュートが有効な場合、コールの通信相手からの音声は聞こえますが、自分からの音声は通信相手に聞こえません。ミュートは、ハンドセット、スピーカフォン、またはヘッドセットで使用できます。

目的	操作
マイクフオンをオンにする	 を押します。
マイクフオンをオフにする	 を押します。


## 複数のコール間での切り替え

複数の回線で複数のコールを切り替えることができます。

目的	操作
別の回線の保留中コールに切り替える	切り替える回線の  (点滅) を押します。
接続コールから切り替えて呼出中のコールに応答する	 (点滅) を押します。アクティブ コールが保留状態になり、選択したコールが復帰します。

## 進行中のコールの他の電話機への切り替え







進行中のコールは、デスクトップの電話機と、携帯電話または他のリモート接続先の電話機との間で切り替えることができます。

目的	操作
進行中のコールをデスクトップ電話機から携帯電話に切り替える	<ol style="list-style-type: none"><li>1. <b>[Mobility]</b> ソフトキーを押して、<b>[Send call to mobile]</b> を選択します。</li><li>2. 携帯電話で進行中のコールに応答します。 デスクトップ電話機の回線ボタンが赤  になり、ハンドセットアイコンと発信者の番号が電話機に表示されます。同じ電話回線を別のコールに使用することはできませんが、デスクトップ電話機が複数回線をサポートする場合は、別の回線を使用してコールの発信または受信ができます。</li></ol>
進行中のコールを携帯電話からデスクトップ電話機に切り替える	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 携帯電話で通話を終了して携帯電話を切断します。ただし、コールは切断しないでおきます。</li><li>2. デスクトップ電話機で 4 秒以内に <b>[Resume]</b> を押して、デスクトップ電話機で会話を開始します。</li></ol>






## コールの転送

接続コールは転送によってリダイレクトされます。**転送先**は、コールの転送先となる電話番号です。コールを転送すると、電話機は新しい回線で転送を開始します。

目的	操作
転送先の相手と会話せずにコールを転送する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アクティブ コールで、 を押します。</li> <li>2. 転送先の番号を入力します。</li> <li>3.  をもう一度押して転送を完了するか、<b>[EndCall]</b> を押してキャンセルします。</li> </ol> <p> <b>(注)</b> 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、切断によって転送を完了します。</p>
転送先の相手と会話してからコールを転送する (打診転送)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アクティブ コールで、 を押します。</li> <li>2. 転送先の番号を入力します。</li> <li>3. 相手が応答するのを待ちます。</li> <li>4.  をもう一度押して転送を完了するか、<b>[EndCall]</b> を押してキャンセルします。</li> </ol> <p> <b>(注)</b> 電話機でオンフック転送が有効になっている場合は、切断によって転送を完了します。</p>
ボイス メッセージ システムにコールをリダイレクトする	<b>[iDivert]</b> を押します。詳細については、 <a href="#">P.28 の「ボイス メッセージ システムへのコールの送信」</a> を参照してください。

### ヒント

- 電話機でオンフック転送が有効な場合は、切断してコールを完了するか、または  を押してから切断することができます。
- 電話機でオンフック転送が有効でない場合は、 をもう一度押さずに切断すると、コールが保留状態になります。
-  を使用して保留中のコールをリダイレクトすることはできません。**[Resume]** をもう一度押して、転送前にコールの保留を解除してください。

## ボイス メッセージ システムへのコールの送信

[iDivert] を使用して、アクティブ、呼出中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信できます。コールのタイプと電話機の設定によっては、[iDivert] を使用して通話相手のボイス メッセージ システムにコールを転送することもできます。

- コールが最初から自分以外の誰かの電話機に送信されていた場合は、[iDivert] でそのコールを自分のボイス メッセージ システムまたは本来のコール先のボイス メッセージ システムのどちらかにリダイレクトすることができます。このオプションは、システム管理者が使用可能にしておく必要があります。
- コールが直接送信された（転送されたのではない）場合、または使用している電話機が上記で説明したオプションをサポートしていない場合、[iDivert] を使用するとコールはその電話機ユーザのボイス メッセージ システムにリダイレクトされます。




目的	操作
アクティブ、呼出中、または保留中のコールをボイス メッセージ システムに送信する	[iDivert] を押します。次のどちらかになります。 <ul style="list-style-type: none"><li>• コールが自分のボイス メッセージ システムに転送されます。</li><li>• 電話スクリーンに、自分のボイス メッセージ システムと本来のコール先のボイス メッセージ システムを選択できるメニューが表示されます。オプションを選択して、コールをリダイレクトします。</li></ul>

### ヒント

電話機にメニューが表示され、選択前にメニューが非表示になっても、[iDivert] をもう一度押すと、メニューが再表示されます。システム管理者に、タイムアウト値を現在より長く設定するように依頼することもできます。

## 別の電話番号へのすべてのコールの転送

[Call Forward All] 機能を使用すると、自分の電話機にかかってくる着信コールを別の電話番号にリダイレクトできます。

目的	操作
プライマリ回線のコール転送を設定する	<p>[CFwdALL] を押して、転送先の電話番号を入力します。</p> <p> (注) 電話機によっては、プライマリ回線と同じ電話番号に追加の回線キーが割り当てられていることがあります。その場合（かつ、その電話番号へのすべてのコールを転送する場合は、回線ごとにコール転送を設定する必要があります。</p>
プライマリ回線のコール転送をキャンセルする	[CFwdALL] を押します。
プライマリ回線のコール転送が有効になっているかどうかを確認する	<p>次の点を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>常に回線キー 1 にあるプライマリ電話番号  の横にコール転送アイコンが表示されている。</li> <li>コール転送の転送先番号がステータス行に表示されている。</li> </ul>
リモートで、またはプライマリ回線以外のコール転送を設定またはキャンセルする	<ol style="list-style-type: none"> <li>ユーザ オプション Web ページにログインします (P.66 の「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」を参照してください)。</li> <li>コール転送設定にアクセスします (P.74 の「<a href="#">Web での回線設定の制御</a>」を参照してください)。</li> </ol> <p> (注) コール転送がプライマリ回線以外で有効になっている場合、電話機にはコール転送の状態が表示されません。ユーザ オプション Web ページで設定を確認する必要があります。</p>

### ヒント

- コール転送の転送先番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、必要に応じてアクセスコードや地域コードをダイヤルします。
- 従来のアナログ電話機、または他の IP Phone にコールを転送することはできますが、システム管理者がコール転送機能を社内の番号に制限している場合があります。
- コール転送は、電話回線に固有の機能です。コール転送が有効でない回線にコールが到達すると、通常どおりコールの呼出音が鳴ります。


- システム管理者は、転送されたコールを受信した人物から転送者への連絡を可能にする、コール転送オーバーライド機能を有効にできます。このオーバーライドが有効になると、転送先から転送者の電話に発信されたコールは転送されず、呼出音が鳴ります。
- システム管理者は、電話回線のコール転送の状態を変更できます。

## サイレントの使用

サイレント（DND）を使用して、着信コールの呼出音が鳴らないようにできます。システム管理者がユーザの電話機のサイレントを有効にできます。

電話機で [DND] と [Call Forward All] の両方が有効になっている場合、コールは転送され、発信者にはビジー音が聞こえません。

サイレントがアクティブでも、インターコム回線の呼出音は鳴ります。

目的	操作
サイレントをオンにする	<p>[DND] を押します。</p> <p>電話機に「Do Not Disturb」と表示され、サイレント ライト （常時点灯）が点灯し、呼出音がオフになります。</p>
サイレントをオフにする	<p>[DND] を押します。</p>
サイレント設定をカスタマイズする	<ol style="list-style-type: none"> <li>ユーザ オプション Web ページにログインします。P.66 の「<a href="#">ユーザ オプション Web ページへのアクセス</a>」を参照してください。</li> <li>[ユーザオプション] &gt; [デバイス] を選択します。</li> <li>次のオプションを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>[サイレント]: サイレントをオンまたはオフにします。</li> <li>[DND 着信呼警告]: 警告をビープ音のみまたは点滅のみにするか、すべての表示を無効にして音声による警告通知に設定します。</li> </ul> </li> </ol>

## 会議コールの使用方法

Cisco Unified IP Phone では、1 台の電話機の会話に 3 名以上の人々を参加させて、会議コールを作成できます。

### 会議コールのタイプについて

会議コールには、標準の（アドホック）会議と Meet-Me 会議の 2 種類があります。

#### 標準の会議コール

**[Conference]** ソフトキーを使用して、参加者それぞれにコールをかけることによって、標準の会議を開催します。標準の会議コールは、ほとんどの電話機で使用可能なデフォルトの機能です。

Cisco Unified IP Phone 7931G を使用して会議コールを発信すると、新しい回線で会議が開始されます。システム管理者による電話機の設定によって、最初のコールと同じ電話番号または別の電話番号の回線が使用されます。

手順の詳細については、P.31 の「標準の会議の開催と参加」を参照してください。





#### Meet-Me 会議コール






Meet-Me 会議は、指定の時間に Meet-Me 電話番号に発信することによって作成できます。

手順の詳細については、P.33 の「Meet-Me 会議コールの開催または参加」を参照してください。


### 標準の会議の開催と参加

標準の（アドホック）会議では、1 つのコールに 3 名以上が参加できます。

目的	操作
<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者にコールを発信して会議を作成する</li> <li>すでに開催されている会議に新しい参加者を追加する</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 接続コールで、 (  ) を押します。</li> <li>2. 参加者の電話番号を入力します。</li> <li>3. コールが接続されるまで待ちます。</li> <li>4. もう一度  (  ) を押して、参加者をコールに追加します。</li> <li>5. この手順を繰り返して、参加者を追加していきます。</li> </ol> <p>会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかについては、システム管理者に確認してください。</p>



目的	操作
会議に参加する	呼出音が鳴ったら電話機に応答します。
会議の参加者のリストを表示する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. アクティブな会議で  (常時点灯) を押します。</li> <li>2. <b>[ConfList]</b> を押します。</li> </ol> <p>会議に参加した順序に従って、参加者がリストに表示されます。最後に追加された参加者がリストの先頭になります。</p>
会議の参加者のリストを更新する	会議の参加者のリストを表示している状態で、 <b>[Update]</b> を押します。
会議の開催者を確認する	会議のリストを表示している状態で、リストの末尾までスクロールして、会議の開催者（名前の横にアスタリスク (*) の付いた人物）を検索します。
会議の任意の参加者を削除する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会議の参加者のリストを表示している状態で、参加者の名前を強調表示します。</li> <li>2. <b>[Remove]</b> を押します。</li> </ol>
会議に最後に追加された参加者を削除する	会議の参加者のリストを表示している状態で、 <b>[RmLstC]</b> を押します。
標準の会議への参加を終了する	切断するか、または <b>[EndCall]</b> を押します。
会議コールが安全であることを確認する	電話スクリーンで「Conference」の後ろに  アイコンまたは  アイコンが表示されることを確認します。
セキュリティ保護されていない参加者を会議から削除する	<p>会議の参加者のリストを表示している状態で、 アイコンまたは  アイコンが表示されていない参加者を特定し、<b>[Remove]</b> を押します。</p> <p>会議の開催者以外が参加者を追加または削除できるかどうかについては、システム管理者に確認してください。</p>

## ヒント

- 安全な会議を開始するには、セキュリティを設定した電話機を使用する必要があります。
- セキュリティ保護されていない会議と参加者には、 アイコンが表示されます。
- 電話機の設定内容によっては、会議を開始した後で切断すると、その会議が終了する場合があります。会議が終了しないようにするには、会議を転送してから切断します。

## Meet-Me 会議コールの開催または参加

Meet-Me 会議では、会議番号を呼び出すことで会議を開催したり、会議に参加したりできます。

目的	操作
Meet-Me 会議を開始する	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システム管理者に問い合わせ、Meet-Me 電話番号を取得します。</li> <li>2. 番号を参加者に配布します。</li> <li>3. 会議を開始する準備ができたなら、オフフックにしてダイヤル トーンを聞き、[MeetMe] を押します。</li> <li>4. Meet-Me 会議番号をダイヤルします。</li> </ol> <p>これで、参加者はダイヤルインすることによって会議に参加できます。</p> <p> (注) 開催者が会議に参加する前に、参加者が会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。その場合、参加者はもう一度コールする必要があります。</p>
Meet-Me 会議に参加する	<p>会議の開催者から提供された Meet-Me 会議番号をダイヤルします。</p> <p> (注) 開催者が会議に参加する前に、会議にコールすると、ビジー音が聞こえます。その場合は、もう一度コールしてください。</p>
Meet-Me 会議を終了する	<p>すべての参加者が切断する必要があります。</p> <p>会議の開催者が切断しても、会議が自動的に終了することはありません。</p>

### ヒント

セキュリティ保護されていない電話機からセキュアな Meet-Me 会議番号にコールすると、ユーザの電話機には「Device Not Authorized」というメッセージが表示されます。詳細については、[P.45 の「安全なコールの送受信」](#)を参照してください。

## インターコム コールの発信と受信

ミュートをアクティブにしたスピーカフォン モードでコールに自動応答する通話先の電話にインターコム コールを発信できます。一方向のインターコム コールでは、通話相手に短いメッセージを送ることができます。通話相手のハンドセットまたはヘッドセットが使用中の場合、音声は使用中のデバイスに送信されます。通話相手が現在実行中のすべてのコール アクティビティは同時に継続されます。

通話相手は、インターコムのアラート トーンを受信してから、次のいずれかを選択できます。



- 発信者の通話をマイクロフォンで聞く（発信者の声は聞こえるが相手はユーザの声が聞こえない）。
- **[EndCall]** ソフトキーを押して、インターコム コールを終了する。メッセージを聞かない場合はこの方法を選択します。
- アクティブなインターコム ボタンを押し、ハンドセット、ヘッドセット、またはスピーカを使用して、発信者と会話する。インターコム コールは双方向接続になり、発信者と会話できます。

インターコム機能を使用するときは、次のことに注意してください。


- 1 つのインターコム回線からは、別のインターコム回線にだけダイヤルできます。
- 同時に使用できるインターコム回線は1つだけです。
- あるインターコム回線がアクティブなときに別のインターコム コールに応答すると、最初のインターコム コールは終了します。
- アクティブ コールが監視または記録されているときは、インターコム コールを受信または発信できません。



**(注)** Cisco エクステンション モビリティはインターコム回線をサポートしていません。

目的	操作
事前定義したインターコムの通話相手の番号に、インターコム コールを発信する	 (インターコムの通話相手の回線) を押し、インターコムのアラート トーンが聞こえた後、話し始めます。
事前定義していないインターコムの通話相手の番号に、インターコム コールを発信する	 (123) を押します。インターコムの通話相手の番号を入力するか、相手の短縮ダイヤル番号を押します。インターコムのアラート トーンが聞こえた後、話し始めます。



目的	操作
インターコム コールを受信する	<p data-bbox="465 193 1266 256">インターコムのアラート トーンが聞こえたら、次のいずれかの方法でコールを処理します。</p> <ul data-bbox="475 282 1260 427" style="list-style-type: none"><li data-bbox="475 282 901 310">• 一方向の通話でメッセージを聞く。</li><li data-bbox="475 321 1260 384">•  (アクティブなインターコム回線) を押して、発信者と会話する。</li><li data-bbox="475 402 709 430">• <b>[EndCall]</b> を押す。</li></ul>

## ヒント

- インターコム回線では、別のインターコム回線にだけダイヤルできます。
- 同時にアクティブにできるインターコム回線は1つだけです。
- インターコム回線がアクティブなときに着信コールに応答すると、インターコム コールは終了します。
- インターコム機能は、コールが監視または記録されているときは無効になります。